

豊かな文化を創造する人間の育成に向けて

桜井市教育委員会

1. はじめに

桜井市は奈良盆地の清流を集め、大阪湾に注ぐ大和川の上流、奈良盆地の東南部に位置する。「古事記」や「日本書紀」、「万葉集」などにも数多く登場し、13もの宮殿伝承地がある「くにのまほろば」の地、人々の心のふるさとである。特に、三輪山の北西一帯に広がる纏向遺跡は、「ヤマト王権」と呼ばれる古代日本の政治の中心であったと考えられている。また市内には、わが国最古の神社である大神神社や「花の御寺」として知られる長谷寺、大化の改新につながる歴史をもつ談山神社、知恵の神様として親しまれている安倍文殊院などがある。ほかにも、相撲発祥の地、競馬発祥の地、仏教公伝の地、芸能創生の地、最古の市場と言われる海柘榴市（つばいち）など、日本の歴史を感じることのできる史跡も多数存在する。現在、本市東南部は大和青垣国定公園に指定されており、その山々に囲まれた自然豊かな環境の四季折々の表情を見ることができる。



市の教育方針には、このような地域の財産を誇りに感じ、次の世代へと大切に引き継ぐ気持ちと行動力をもった人を育てることを重点課題の一つに掲げ、取組を進めている。特に学校教育においては、世界遺産学習連絡協議会への参画を契機として、生活科や総合的な学習の時間、社会科の学習等の中で地域にある自然や歴史・文化遺産についての学習を進め、地域を担う次世代の育成に努めている。

2. 教育目標

◆ 学校教育の目標

人権尊重の精神を培うことを基盤として、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな幼児・児童・生徒の育成を目指す。

重点課題（世界遺産学習に関連するもの）

- ・郷土に誇りと愛着をもつ教育の推進

地域の行事や地域の人とのふれあいを通して、桜井市の歴史や文化を学ぶ教育を進め、桜井市に誇りと愛着をもてる幼児・児童・生徒の育成に努める。

◆ 社会教育の目標

人を思いやり、共に助け合う、よりよい社会を築く人づくりを目指す。

具体的目標（世界遺産学習に関連するもの）

- ・郷土・地域の文化遺産を愛護し、豊かな文化の創造に寄与する人間の育成を図る。

3. 教育委員会での取組

(1) 桜井市立埋蔵文化財センター

市内には、約 200 箇所に遺跡が存在し、800 基を超える古墳が存在している。これらの埋蔵文化財の調査や研究をおこない、その成果を市民への普及・啓発する事業の一つとして、展示業務、講演会などを実施している。

(2) 桜井市纏向学研究センター

纏向学とは、ヤマト王権成立の地である纏向遺跡とその周辺地域の調査や研究を通じ、この国の成り立ちや歴史、文化の原像を解明するための横断的な「学」であり、市内の小・中学校と連携して、教育現場での「纏向学」の実践を行っている。

(3) 学校における実践例（概要）

- ① 小学校区毎に桜井市の主な歴史に関わるトピックを集めて、児童だけでなく教員にも参考になる『桜井の歴史発見Q&A』を作成した。【平成 25 年度】
- ② 桜井市観光まちづくり課にて、『桜井の歴史発見Q&A』を活用。案内ガイド協会とともに冊子掲載のクイズを使うことで、本市への関心を高めた。【平成 26 年度】
- ③ 郷土読本作成委員会にて、平成 25 年度に作成した『桜井の歴史発見Q&A』を盛り込んだ『国の始まりの地 わがまち桜井』の冊子を作成した。【平成 27 年度】
- ④ 校区内遺跡について、郷土読本作成委員会にて、小学校区ごとに校区内遺跡を示した地図を作成し、学校ホームページへ掲載した。【平成 28 年度】
- ⑤ 『国の始まりの地、わがまち桜井』を市内小学校の地域学習教材として活用した。【平成 29 年度】
- ⑥ 小学校学習教材「わたしたちの桜井市」の指導書（手引き）を作成した。【令和 2 年度】
- ⑦ 小学校学習教材「わたしたちの桜井市」のテスト内容の検討・作成を行った。【令和 3 年度】
- ⑧ 郷土読本「わたしたちの桜井市」というホームページを立ち上げ、各小学校区にある産業、工業史跡等の説明を掲載した。【令和 4 年度】
- ⑨ 小学校学習教材「わたしたちの桜井市」の令和 7 年度改訂に向け、郷土読本作成委員会にて検討・作成を行った。【令和 5 年度】

(4) 市民団体との連携の取組

うるわしの桜井をつくる会は、地元に残る貴重な文化遺産を自分たちの目で確認し、誇りを持てる児童・生徒を育成するため、平成 28 年 1 月より、市内各小中学校で万葉歌碑写真パネル展示を行った。また、桜井市観光ボランティアガイドの会は、市内小中学校と連携し、桜井市教育委員会平成 27 年度刊行の「国の始まりの地 わがまち桜井」を基本に、校区内にある歴史的遺跡、神社仏閣、神話伝承などの地をめぐる校外学習に取り組んでいる。

4. おわりに

現在、市内にはユネスコに登録された世界遺産は無く、橿原市・明日香村と共に「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向けて取り組んでいるところである。多くある地域の歴史文化遺産・自然遺産を活用し、自分たちの住む地域を誇りに思う心を育て、将来の地域社会の担い手を育てる取組をすすめていきたい。